

令和2年度第1回射水市生活支援・介護予防サービス推進協議会

日時：8月26日（水）午後2時

場所：庁舎4階 401会議室

次 第

1 開 会

2 報告事項

- (1) 射水市地域支え合いネットワーク事業の進捗状況等について 【資料1】

3 協議事項

- (1) コロナ禍での地域活動について 【資料2】
- (2) 地域課題解決に向けた生活支援の取り組みについて 【資料3】

4 その他

- (1) 今後のスケジュールについて 【資料4】

5 閉 会

射水市生活支援・介護予防サービス推進協議会委員名簿

	団体名	役職	委員名
高齢者福祉に関し 識見を有する者	射水市社会福祉協議会	会長	門田 晋
	射水市老人クラブ連合会	会長	若林 忠雄
	富山福祉短期大学	社会福祉学科長・教授	宮嶋 潔
地域における連携 及び支援体制の関 係者	射水市地域振興会連合会	常任理事	佐野 幸弘
	射水市民生委員児童委員協議会	会長	中川 由紀子
	公益社団法人射水市シルバー人材センター	事務局次長	牧野 園美
	射水市ボランティア連絡協議会	副会長	山崎 京子
介護サービス提供 事業者	社会福祉法人 小杉福祉会	特別養護老人ホーム 太閤の杜 施設長	松浦 佳紀
	社会福祉法人 射水万葉会	福祉プラザ七美デイ サービスセンター 管理者	森山 哲充
民間企業関係者	射水商工会議所	事務局長	砂原 良重
	射水市商工会	事務局長	武部 賢昭
地域包括支援セン ターの代表者	新湊東地域包括支援センター	所長	富田 克実

協議会 会長	宮嶋 潔
協議会 副会長	門田 晋

射水市地域支え合いネットワーク事業の進捗状況等について

1 概要

高齢者等が社会参加し、地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援するため、地域の支え合い体制の整備、住民主体の多様な地域活動の創出等を目指す、射水市地域支え合いネットワーク事業を平成29年4月から本格実施している。

(1) 事業実施地域 (21地区で実施/27地区)

※令和2年8月10日現在

		申請年月	地区	担当包括			申請年月	地区	担当包括
H 28 年度 (モデル事業)	1	H28.10月	庄西	新湊西	R 元 年度	16	R1.9月	水戸田	大門・大島
	2	H28.10月	七美	新湊東		17	R1.11月	黒河	小杉南
	3	H28.10月	三ヶ	小杉・下		18	R1.1月	大門	大門・大島
	4	H28.10月	南太閤山	小杉南		19	R2.2月	池多	小杉南
	5	H28.10月	大島	大門・大島		20	R2.3月	片口	新湊東
	6	H29.2月	下	小杉・下		21	R2.7月	本江	新湊東
H 29 年度	7	H29.4月	浅井	大門・大島	R 2 年度				
	8	H29.6月	戸破	小杉・下					
	9	H29.12月	金山	小杉南					
	10	H30.2月	堀岡	新湊東					
H 30 年度	11	H30.4月	作道	新湊西	未 実 施	1	海老江	新湊東	
	12	H30.6月	中太閤山	小杉南		2	大江	小杉・下	
	13	H30.9月	放生津	新湊東		3	橋下条	小杉南	
	14	H30.10月	塚原	新湊西		4	太閤山	小杉南	
	15	H30.12月	新湊	新湊西		5	櫛田	大門・大島	
						6	二口	大門・大島	

[参考] 地域包括支援センター圏域

新湊西 : 庄西、塚原、作道、新湊

新湊東 : 放生津、片口、堀岡、海老江、七美、本江

小杉・下 : 三ヶ、戸破、大江、下

小杉南 : 橋下条、金山、黒河、池多、太閤山、中太閤山、南太閤山

大門・大島 : 浅井、櫛田、水戸田、二口、大門、大島

(2) 各地域の進捗状況等

実施地区一覧表【参考1】

未実施地区の状況【参考2】

2 普及・啓発（今後の予定）

(1) 射水市地域支え合いネットワーク事業活動事例集の作成（令和3年1月作成予定）

毎年各地域の活動内容を写真等でまとめた活動事例集を作成し、全地区に配布している。

(2) 第2層協議体の開催（令和2年度末開催予定）

地域支え合いネットワーク事業の成果や課題を他地区と情報共有及び意見交換し、広域的な「つながり」を作ることを目的とした、第2層協議体（「みんなでつなげる地域支え合い会議」）を毎年1回地域包括支援センター圏域で実施している。

(3) 講演会及び研修会の開催

ア 第3層生活支援コーディネーター研修会（令和2年8月開催済）

地域支え合いネットワーク事業の実施において、地域の連絡調整等を担う第3層生活支援コーディネーターを対象とした情報交換の場として毎年1回研修会を開催している。

(ア)日 時 令和2年8月12日(水)

(イ)場 所 救急薬品市民交流プラザ ふれあいホール

(ウ)内 容 講義「集いの場での感染症予防」富山県高岡厚生センター 竹内支所長
情報交換会「コロナ禍での地域活動」

(エ)参加者 50名

イ みんなで学ぼう！地域支え合い講演会（令和2年11月21日(土)、30日(月)の2日間開催予定）

2025年を目途に構築を目指す地域包括ケアシステムの概念や、地域での支え合い体制の必要性を普及することを目的とし、全住民を対象とした講演会を毎年1回開催している。

ウ 住民サポーター研修会（令和3年1月開催予定）

地域活動（集いの場等）に協力いただけるサポーターを養成することを目的とした研修会を毎年1回開催している。

(4) 各地域への巡回

事業実施地区においては、地域活動の進捗状況等を確認の上、今後の事業の方向性や進め方を共に協議している。

未実施地区においては、事業説明や実施に向けた課題等の聞き取りを行っている。

3 今後について

上記の普及・啓発活動を継続するとともに、地域包括支援センターの第2層生活支援コーディネーターとも連携し、令和3年度までに市内全域において事業実施完了を目指す。

年度	実施地区
平成28年度（モデル事業）	6地区
平成29年度	10地区
平成30年度	15地区
令和元年度	20地区
令和2年度	25地区
令和3年度	27地区

目標

担当包括	地域	地区人口、高齢化率、全世帯数等 (R2.3.31時点)	開始年度	第3層SC	地 域 で の 会 議 ※第3層SC 他メンバー	集いの場タイプ・箇所数	集いの場以外の主な活動や動き等
新 湊 西 包 括	庄西	888人、44.7%、378世帯 3自治会 市街地	H28	1人 民生・児童委員	第3層協議体会議(年2～3回)・全体会 振興会長(地区社協会長)、自治会長、民生・児童委員、コミセン職員 ヘルスポランテア、婦人会、老人クラブ、地区社協役員	コミセン+自治会型 2箇所	生活支援はケアネットでカバー、放課後児童クとコラボ 喫茶「しょうせい」(給茶機設置)、庄西ちょこっとランチ (年4回)、きら100と脳トレサロンは2地区同時開催
	新湊	5827人、41.1%、2493世帯 15自治会 市街地	H30	1人 地区社協会長	新湊地区支え合いネット「つながらんまいけ」(運営委員・推進員) 振興会長、自治会長、老人クラブ、民生・児童委員、コミセンター長 ボランティア	自治会型 11箇所	6つのブロック毎にサブコーディネーターを置き活動を展開 課題会議(R1.11月)実施し計画策定中
	塚原	3130人、33.4%、1138世帯 9自治会 農村部	H30	1人 元 振興会長	塚原地区支え合い事業企画委員会(月1回)・・・委員5人 地区社協会長(センター長)、民生委員、管理栄養士、教員	自治会型 9箇所	サロン、100歳グループ中心ではなく前期高齢者を中心 とした活動を模索(懐かしの映画の集い、カラオケサロン、 塩分調査、健康だより発行など)
	作道	5708人、27.2%、2116世帯 13自治会 農村部	H30	3人 地区社協会長 民生児童委員 コミセン職員	「作道校区声かけていかんまいけ」(推進員会議・全体会) 振興会長、自治会長、老人クラブ、民生児童委員、コミュニティセンター長 100歳体操代表者会議(年2回)	自治会型 12箇所	研修会企画により地区推進員及び地域住民の意識を高める ため、講演会・レク交流会を開催(年4回程度)
新 湊 東 包 括	放生津	4858人、43.4%、2248世帯 24自治会 市街地	H30	1人 コミセン職員	第3層協議体会議 振興会長、地区社協会長、自治会長、民生児童委員	コミセン+自治会型 6箇所	課題会議や事業に介護事業所の参画 コミセンでの集いの場で介護事業所のミニ講座、食改と 共催によるシニアカフェ等の実施、市の出前講座
	片口	3827人、17.9%、1488世帯 13自治会 準工業地帯	R1	2人 コミセン職員 100歳体操グループ代表者	お喜楽快ネットワーク 振興会長、地区社協会長、自治会長、地区社協会長、民生委員 老人クラブ連合会	自治会型 3か所	「お喜楽快通信」の発行 マスクの作り方と材料・声かけお手紙の送付
	堀岡	2603人、32.9%、1023世帯 13自治会 準工業地帯	H29	10人 自治会区集いの場代表者	地域支え合いネットワーク事業連絡会議(年3回) 振興会長、地区社協会長、集いの場代表、コミセン職員	自治会型 10箇所	幾つかの自治会で麻雀の集まり(男性)ができている 小学5年生と徘徊声かけ模擬訓練実施
	本江	1878人、26.0%、683世帯 6自治会 農村部	R2	6人 振興会会長、地区社協会長 民生委員、ヘルスポランテア 自治会長	地域支え合いネットワーク事業連絡会議 振興会長、地区社協会長、地域振興会役員、コミセン職員、民生委員 自治会長、ヘルスポランテア	コミセン型+自治会型	地域現状の情報分析、コミセンを地域相談所として 活用・PR(予定)
	七美	1410人、37.3%、543世帯 8自治会 農村部	H28	3人 地区社協会長、地域福祉推進員	いこいの家企画会議(スタッフ会議、月1回) スタッフ16名	コミセン型 住民型デイサロン「いこいの家」 (1日開設)	共生型への志向(支援の必要な子供の受け入れ) 「いこいの家」への送迎サービス実施 生活支援はケアネットでカバー
小 杉 ・ 下 包 括	三ヶ	4940人、27.8%、2125世帯 22自治会 市街地	H28	4人 地区社協会長、民生・児童委員 ヘルスポランテア	第3層SC会議(随時) 地域振興会副会長兼地区社協会長、民生委員、ヘルスポランテア	コミセン型(三ヶふれあい館) すこやかさんが 月1回相談会(包括)	一人暮らし高齢者等、要支援者宅に緊急連絡先マグネット の配布を計画 文化祭で事業紹介の展示
	戸破	9282人、22.6%、3640世帯 29自治会 市街地	H29	4人 民生・児童委員、コミセン職員	第3層協議体会議(随時) 振興会長、地区社協会長、地域振興会役員、コミセン職員 にこにこカフェスタッフミーティング(隔月1回)	コミセン型 ひばりにこにこカフェ 月1回相談会(民生委員・包括)	戸破くらし応援隊(有償ボランティア、チケット制)の実施 コミセンに交流・談話スペース整備 文化祭で事業紹介の展示

担当包括	地域	地区人口、高齢化率、全世帯数等 (R2.3.31時点)	開始年度	第3層SC	地 域 で の 会 議 ※第3層SC 他メンバー	集いの場タイプ・箇所数	集いの場以外の主な活動や動き等
小杉 包 括 ・ 下	下	1811人、32.6%、643世帯 6自治会 農村部	H28	2人 民生・児童委員	第3層SC会議(随時) 振興会事務局(コミセンター長)、コミセン職員、民生委員 集いの場(100歳体操) 代表者会議(年1回)、事業報告会(年1回)	自治会型 6箇所 全体交流会(年1回)	コミバス買い物ツアー実施 小学校祭で事業紹介(1教室を借り) 弁当や日用品の配達商店等の一覧を作成
小杉 南 包 括	金山	1441人、36.7%、514世帯 6自治会 山間部	H29	4人 自治会区集いの場代表者(ヘルス)	ふれ愛かなやま会議(月1回) ふれ愛かなやま委員会事務局、各集いの場代表	自治会型 4箇所 全体交流会(年1回⇒2回)	全体交流会に小学生との交流(室内ミニ運動会)を企画 文化祭での活動掲示 とくし丸の利用案内
	黒河	3115人、23.2%、1139世帯 7自治会 農村部	R1	4人 寿楽会副会長 地域振興会事務局(2名) ボランティアリーダー	地域支えあい協議会「地域でやらんまいけ」 振興会、地区社協、町内会長、民生委員、ボランティア、市議会議員等		全戸アンケート調査実施
	池多	917人、29.8%、345世帯 5自治会 農村部	R1	3人 コミセン職員 民生委員(2名)	地域支えあい協議会「ささえ愛 いけだ」 振興会、地区社協、民生委員、ヘルスボランティア	コミセン型	
	中太閤山	3290人、34.4%、1341世帯 14自治会 団地	H30	4人 ヘルスボランティア 社協役員	中太閤山地区コーディネーター会議(月1回) 振興会長、地区社協(会長、ケアネットチーム員)	新たな拠点型 (パスコ、集会所等) 2箇所	歌声喫茶の開催(不定期)
	南太閤山	3230人、37.7%、1310世帯 14自治会 団地	H28	2人 地区社協副会長 元民生委員(看護師)	ボランティアスタッフ反省会(毎週) ♡みなみボランティアスタッフ意見交換会(年1回)	コミセン型 住民型デイサロン 「支えあいネット♡みなみ」	参加者が特技を生かし、主体的に「♡みなみ」の運営に参加 生涯学習グループ、保育園、小中学生との交流
大 門 ・ 大 島 包 括	浅井	3011人、25.3%、598世帯 10自治会 農村部	H29	4人 地区社協会長、サロン代表者 ヘルスボランティア、食改ボランティア	浅井支えあい協議会(年1～2回) 振興会長、自治会長、ボランティア、長寿会、民生委員 第3層SC会議(随時) ふれあい館ちょこサポ交流会(年1～2回)	コミセン型 浅井ふれあい館	週1回(午後)、浅井ふれあい館としてコミセンを全館解放 ちょこサポはヘルス、食改が中心
	水戸田	1437人、38.7%、496世帯 7自治会 農村部	R1	1人 100歳体操グループ代表者	水戸田ささえあい協議会 振興会長、社協会長、自治会長、民生児童委員 コミセンター長、コミセン職員	コミセン型	第3層協議体準備会にて事業の進め方を検討中
	大門	2394人、37.5%、989世帯 14自治会 市街地	R1	7人 振興会事務局長、振興会事務員 民生委員、ヘルスボランティア、 コミセンセンター長、自治会長	第3層SC課題推進会議 地域振興会、地区社協、民生児童委員、自治会長、コミセンター長 長寿会、ボランティア、老人クラブ等	コミセン+自治会型 大門ふれあいサロン 2箇所	月1回イベントを予定
	大島	11221人、26.6%、4053世帯 24自治会 市街地	H28	5人 自治会区集いの場代表者	第3層SC会議(月1回)	自治会型 5箇所 合同集いの場(年1回)	地域ふれあいサロンを核に自治会ごとに活動を展開

未実施地区の状況

	地区	担当包括	実施に向けた動き等（今年度）
1	海老江	新湊東	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業に係る素案作成済 ・ 8月：地域のコアメンバー、包括、市で申請に係る協議済 ・ 10月～事業実施予定
2	大江	小杉・下	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8月：事業説明会開催済 ・ R2年度中に事業実施予定
3	橋下条	小杉南	<ul style="list-style-type: none"> ・ R元年度末に包括事業としての介護予防教室（「介護予防きときと倶楽部」）を全5回コースで実施済。事業の結果を地域振興会役員会にて報告済 ・ 9月：包括、市で事業説明予定
4	太閤山	小杉南	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9月：包括、市で事業説明予定
5	櫛田	大門・大島	<ul style="list-style-type: none"> ・ 包括事業としての介護予防教室（「介護予防きときと倶楽部」）、を感染症対策のため休止中。8月～再開予定。全3回コース終了後、支え合い事業について検討か。 ・ 継続可能な実施形態を検討中
6	二口	大門・大島	<ul style="list-style-type: none"> ・ 振興会組織を活かして支え合い事業の実施を検討中 ・ 第3層SC（世話役）等の人材不足

コロナ禍での地域活動について

1 経過

全国的な新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、本市においては射水市新型コロナウイルス感染症対策本部会議における決定に基づき、4月3日付で市内各地域に対し、「地域ふれあいサロン」、「きららか射水100歳体操」及び「地域支え合いネットワーク事業での集いの場」等の活動については当面の間、自粛を要請した。その後、感染拡大の勢いが鈍化し、富山県においても緊急事態宣言が解除されたことから、6月1日付で自粛要請を解除した。

各地域では自粛要請解除に伴いそれぞれ感染症対策を行ったうえで活動を再開している。

2 自粛期間中の地域支援

(1) 行政、地域包括支援センターによる地域支援

ア きららか射水100歳体操をケーブルテレビにて放映（毎日午後3時～約45分間）

放送期間：4月13日～7月5日

イ 地域包括支援センターによる電話での安否確認・健康相談

(2) 地域住民による地域活動

ア 高齢者宅へ脳トレプリント及び手作りマスク等の配布（一部地域）

イ 民生委員を中心とし、高齢者宅へ訪問・声かけ

3 再開後の活動状況

(1) 主な感染症対策

ア 活動参加者の検温

(ア) 会場入口にて非接触型体温計などを用い検温

(イ) 参加者各自が自宅で検温し、その上で会場に来訪

イ 活動前後の手指および備品の消毒

消毒用アルコールなどを使用し活動前後に手指及び備品の消毒を実施

ウ 三密の回避

(ア) 換気の徹底（密閉防止）

常時換気または定期的な換気等を実施

(イ) ソーシャルディスタンスの確保（密接防止）

机、椅子の間隔を拡げる、向かい合う際は席を互い違いに配置する等

(ウ) 室内人数の低減（密集防止）

参加者をグループ分けし、活動する日時をずらす等

エ 一部の活動自粛

カラオケ、茶話会などの活動を自粛（一部地域）

(2) 活動内容

ア 「地域ふれあいサロン」「きららか射水100歳体操」(地域支え合いネットワーク事業の集いの場)

多くの地域で集いの場が再開された。グループを分けるなどして一度に集中する人数を減らして実施している地域もある。ただし、一部の地域では「会場が狭い・窓が一つしかない」などの理由で再開できていない。また、活動再開後に参加者が減少した地域がある。

イ 茶話会・食事会

茶話会・食事会については、再開した地域と自粛中の地域が混在している。再開した地域では(1)で示した感染症対策を徹底したうえで、使い捨ての食器やコップを使用するなど、さらなる対策を実施している。

ウ その他地域独自の活動について

カラオケなどの発声を伴うものや、飲食などの飛沫感染のリスクが高いと想定される催しに関しては、再開に対して慎重となっている。

一方、一部地域からは市政出前講座の申請等があり、密接を避けた講義形式での講座を実施している。

エ 熱中症対策について

各地域では感染症対策と並行して熱中症対策も実施している。具体的には換気とエアコン使用の同時実施・100歳体操時における水分補給時間の確保などである。

(3) 自粛期間中の住民の状況

自粛期間中に、外出や社会参加の機会が減少したことにより、自宅内で転倒する、あるいは持病の悪化等により入院する高齢者が一部見受けられた。

4 今後について

新型コロナウイルス感染症の新規感染者数は再び増加傾向にあり、一部地域で活動が自主的に取りやめられるなど影響が出ている。しかし、体を動かさなくなることや、周囲の人々との交流機会の減少が高齢者の心身に及ぼす影響は大きい。

よって、市としては今後も感染症対策を徹底しつつ、可能な限り地域活動を継続していく必要があると認識している。ただし、本格的な感染第2波等が到来した際はこの限りではない。

5 協議事項

今後、新型コロナウイルス感染症の本格的な感染第2波が到来した際に、行政として、または地域としてどのような対策を講じることが出来るか。

(例：ケーブルテレビで100歳体操を放送することにより、フレイル予防を図る【行政】)

(例：地域住民が独居高齢者、障がい者等の支援が必要な方へ声掛けを行う【地域】)

地域課題解決に向けた生活支援の取り組みについて

1 背景

地域での支え合い体制について協議する「地域支え合いネットワーク事業」の活動の現状としては、高齢者の社会参加及び交流を目的とした集いの場（コミセンや自治公民館での100歳体操やサロン活動等）及び介護予防に対する普及啓発を目的としたイベント等の開催が主である。一方で、ひとり暮らし高齢者等の増加に伴い、「高齢者の抱える生活課題を住民同士で支援するしくみが必要」という意見が地域課題会議等において多く出ていることから、今後、地域住民による生活支援体制の更なる整備が期待される。

2 市内の生活支援に係る取り組み

解決すべき生活課題	地区	開始時期	取り組み内容
移送支援	七美	H28. 11 月	<p>コミセンでの集いの場（住民型デイサロン「いこいの家」）に、地区内の高齢者誰もが参加できるよう、住民型の送迎サービスを実施している。（利用料：往復 100 円）</p> <p>※市補助金より保険料の支払いを行い、運転手を決めて実施。</p>
訪問型支援 （高齢者の暮らしの中での困りごと）	戸破	R1. 10 月	<p>高齢者の日常生活におけるちょっとした困りごとを地域で支え合うしくみとして、訪問型日常生活支援「戸破くらし応援隊」を立ち上げている。（利用料：30分 300円のチケット制）</p> <p>※窓口をコミセンに設置し、買物代行、電球・電池の交換、草むしり、掃除等の軽作業を地域のボランティアが行う。</p>
買い物支援	金山	R1. 7 月	<p>地域の会議で利便性や安全性について検討を重ねた上で、移動スーパー「とくし丸」を導入している。導入にあたり、スーパー側からの事業説明会等も開催し、現在は4町内の集いの場を移動スーパーが回っている。</p>
	下	R1. 6 月 R2. 10 月 (予定)	<p>地域の高齢者がコミュニティバスを活用して買い物ができるようになることを目的として、買物体験ツアーを実施している。</p>

3 協議事項

上記の生活課題（移送支援、訪問型支援及び買い物支援）において、

- (1) 各団体で把握している地域資源、ご協力いただける支援
- (2) 上記の取り組み以外に、生活支援に係る取り組みを創出するためのしかけについて

今後のスケジュールについて

実施時期	スケジュール
令和2年 8月26日	○令和2年度第1回 射水市生活支援・介護予防サービス推進協議会
11月 21日30日 (2日間)	○みんなで学ぼう！地域支え合い講演会
令和3年 1月～2月	○住民サポーター研修会 ○介護予防・生活支援サービス従事者養成研修 ・研修修了者と事業所のマッチング
2月～3月	○令和2年度第2回 射水市生活支援・介護予防サービス推進協議会